

公認ボウリングコーチ4
資格概要

2021年4月1日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人全日本ボウリング協会	
養成目的		一貫指導システムに基づき、都道府県代表並びにナショナルチームレベルの強化指導にあたる指導者を養成する。	
役割		国民体育大会、日本スポーツマスターズ等の強化指導や監督資格者となる。国際大会等の監督・コーチ並びに国際大会等における国際情勢、情報収集にあたり、選手強化に役立てる。	
養成講習会に係る内容	受講条件	受講年度の4月1日現在満22歳以上の、JBC公認ブロンズ、シルバーコーチ有資格者、または同等のインターナショナルコーチレベルの指定をUSBCから受けている者で、下記のいずれかの条件を満たす者。①全日本ボウリング協会公認第2種審判員以上の資格者で都道府県連盟代表者が推薦し、全日本ボウリング協会代表者が認めた者。②日本プロボウリング協会公認A・B・C級インストラクター及び認定1級インストラクターの資格を有し、日本プロボウリング協会代表者が認めた者。	
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅳ(151h以上)
		専門科目	ボウリングコーチ4専門科目(80h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅳ:30,800円(税込)／上級教師:61,600円(税込)
		専門科目	受講料:17,600円(税込)※実施団体が別途定める場合がある
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
専門科目		<ul style="list-style-type: none"> ■講習会:実技を含む集合講習会22hを3日間で行う。 ■検定試験:最終日に行い、審査の参考にする。 ■審査:検定試験の結果等を参考に、公益財団法人全日本ボウリング協会指導委員会が承認した検定員が行う。 ■免除要件:1. 国際大会等で特に優秀な成績を収めた者で、コーチとしての資質、能力が優れていると認められたもの。 2. 国外での指導者としての資格取得者又は同等の資質、能力があると認められた者。 3. 在外研修者 上記1、2、3の者については、全日本ボウリング協会指導委員会が内容・程度を審査のうえ、免除科目を決定する 4. その他有資格者 (1) USBCインターナショナルシルバーコーチの指定を受けている者は<u>コーチ4</u>の講習及び試験を免除する。 	
登録に係る内容	登録料(4年間)	基本登録料:10,000円	
		資格別登録料:4,000円	
		初期登録手数料(初回登録時のみ):3,300円	
更新登録要件	資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、全日本ボウリング協会が定める研修または日本スポーツ協会(都道府県体育・スポーツ協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。		
特記事項			

公認ボウリングコーチ4

2021年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 種目の特性に応じた 基礎理論	①	概観	2.00 h	5.00 h	7.00 h
	②	レーン	2.00 h	6.00 h	8.00 h
	③	スポーツ生理学	2.00 h	6.00 h	8.00 h
	④	ボウリングとスポーツ医学	2.00 h	6.00 h	8.00 h
	⑤	マーケティング	2.00 h	6.00 h	8.00 h
	小 計		10.00 h	29.00 h	39.00 h
② 実技	①	フィジカルゲームのコーチング	2.00 h	6.00 h	8.00 h
	②	ボールフィットと効果	2.00 h	6.00 h	8.00 h
	③	ボールダイナミクスとレーンプレイ	2.00 h	6.00 h	8.00 h
	④	レーンパターンとレーンプレイ	2.00 h	6.00 h	8.00 h
	小 計		8.00 h	24.00 h	32.00 h
③ 指導実習	①	メンタルゲーム	2.00 h	5.00 h	7.00 h
	②	レーン上での実習	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	小 計		4.00 h	5.00 h	9.00 h
			22.00 h	58.00 h	80.00 h